

第2回定例会

区政をただす

一般質問

新型コロナウイルス感染症 における区の対応を問う

自由民主党議員団 大内 しんご



感染症対策の最前線でご尽力いただいている医師や看護師、様々な分野で私たちの生活の維持をしていただいている皆様に感謝を申し上げます。

①東北復興大祭典なかの開催の可否や、内容の決定方法は。②夏以降の区内イベントの検討状況は。③今後の区財政の見通しは。④今年度予算の歳出抑制や事業見直しの検討

討状況、財政規模は。⑤第二波に備え、体制作りや準備をすべきではないか。

区長

①関係団体の意見を聞き、7月を目途に実行委員会等で決定出来るよう進めたい。②今後の感染拡大状況や国・都の動きを見極め、判断する。③令和3年度予算への影響額は100億円を超えることも想定しており、大胆な

新型コロナウイルス感染症と 共生する区政運営を

立憲民主党・無所属議員団 中村 延子



①新型コロナ拡大予防対策で顕在化した課題を議論し、全庁横断的な調整が行える実行力のある体制を整備し、保健所が防疫活動に即座に専念できる支援体制を構築すべきでは。②複合災害に対し、避難所に可能な限りスペースを確保し、人員体制を再整理すべきである。感染症対策のマニュアル作成や職員研修も実施し、避難行動等を区民に分かりやすく周知すべきでは。③赤ちゃんの月齢が近い人が集まる事業や集団検診は、ほ

とんど中止となった。新型コロナが蔓延し始めた時期に子育てをスタートした方は、より支援が必要であり、繋がれる仕組みが必要では。④子ども関連部署それぞれで出来る虐待予防の観点を持つことが重要であり、経験を生かし、感染予防しながらの場の提供等出来ることは多くある。全ての子どもを守る意識が区全体として必要では。⑤ワクチンで予防できる感染症は重大な病気をひき起こす可能性があり、予防接種を確実に進め

新型コロナウイルス感染症 に対する区の取り組みを問う

公明党議員団 白井 ひでふみ



この間、沢山の相談、要望を受け、区へ政策提案を行ってきた。特に、区内医療機関での大規模クラスターについては、国会や都議会公明党と連携して支援の要請、要望を行って来た。①区内医療機関での大規模院内感染への対応策は。②一律10万円の特別定額給付金の迅速な給付の実現に向け、繰り返し声をあげてきた。職員の努力に感謝する。申請・給付の現状と、少しでも早い給付のための取り組みは。③妊娠・子育て応援ギフト券と、子育て世代への臨時特別給付金の両方が未対象者への支援策を講ずるべきで

修学旅行など 各種事業を工夫して実施せよ

①体育祭や運動会等の秋の行事について、実施の考えは。②中学生生活の一番の思い出となる修学旅行を実現すべきではないか。

教育長

①各学校の状況に合わせて、実施の工夫を指導・助言する。②時期や場所等を含め、可能な限り実施したい。

新型コロナウイルス感染症 対策を問う

日本共産党議員団 浦野 さとみ



①ジェンダー平等の観点で一つ一つの課題を解決していくことが重要ではないか。②消費税増税と新型コロナ問題により、区民生活が困難さを増す中で、住民税や国民健康保険料の徴収強化だけでなく、生活再建の観点で支援の必要性を議論すべきでは。③学びの保障という点で少人数学級の実施がより求められている。教職員の加配や、空き教室や旧沼袋小学校・旧第九中学校等を活用し、早急な対策・検討を始めるべきでは。④医療

新型コロナウイルス感染症に 対して様々な施策を実施せよ

都民ファーストの会中野区議員団 内野 大二郎



①複合災害対策として、感染症対策と同時に自然災害対策も必要である。情報伝達の優先順位を決め、適宜適切に必要な情報が行き届くように備えておくべきでは。②学校臨時休業中の昼食費の上乗せ補助を、就学援助を受けていない世帯へもすべきでは。③感染拡大防止協力金や持続化給付金の受給者に対して、家賃補助など、国や都の補助に上乗せ支援をしてはどうか。

区長

①ケーブルテレビ

②国の児童手当の上乗せなどの支援があるため、改めて行う考えはない。

公共事業の前倒し施策をせよ

日本経済全体の落ち込みの中で、区内経済の回復に向けて、公共事業の前倒し施策をどのように考えるか。

区長

事業の優先度や財源の確保等を勘案しながら検討し、具体化を急ぎたい。

臨時休業中の児童・生徒の学習の遅れを支援せよ

4月からの約2か月間の学習の遅れへのフォロー対応について区の見解は。

教育長

夏季休業日や土曜日の活用によって授業時間を確保し、履修すべき学習内容を確実に実施していく。

中野区議会では、ペーパーレス化等の推進のため、タブレット型携帯端末等を使用しています。